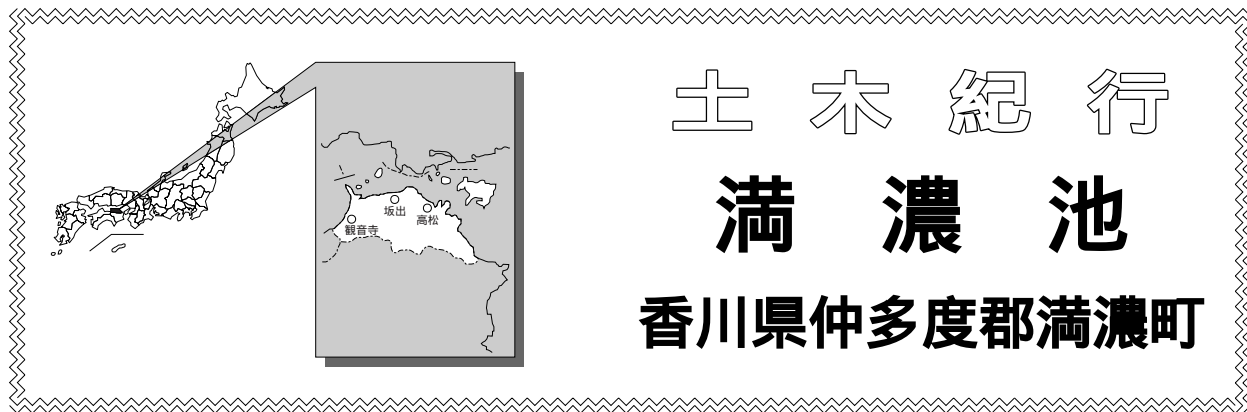




日本一の規模を誇り、溜池の多い香川県の中でも最も古い歴史を持っている「満濃池」は、大宝年間（701～704年）にかけて、讃岐の国守「道守朝臣」により創築されたとされています。

創築後も決壊と修築を繰り返しましたが、数ある修築において最も有名な人物が、真言密教の祖でもある空海。この空海も満濃池の改修工事の指揮をとっています（弘仁12年（821年））。

土木知識に長けた空海は、全く新しい独特の構想をもって修築計画を立案したとされています。特に、堤の内側を水圧防止のために弧を描いて造る“逆アーチ型の堤防”や、余水吐、水たたき等は、当時としては画期的かつ最先端の技法で、現在でも多くのダムや堤にも用いられており、国内はもとより海外からも技術者が見学に訪れているそうです。

空海の修築後も、現在の規模となるまでに、その後何度も決壊と修築を繰り返しました。明治38、9年に堤防を3尺（0.87m）かさ上げ、大正3年（1914年）にはすべての樋をコンクリートや花こう岩に替え、煉瓦造りの配水塔も設けられ、



土木紀行

満濃池

香川県仲多度郡満濃町

昭和2年に5尺（1.51m）のかさ上げ工事を行いました。しかし、こうした修築にもかかわらず、灌漑用水としての水不足は続き、昭和9年には記録的な干魃にも襲われました。

そこで、昭和16年（1942年）から、“昭和の大改修”とも呼ばれる6mという大規模なかさ上げ工事にかかりました。その後、第二次世界大戦にと時代は混乱期を迎え、昭和19年には工事が中止、戦後昭和21年から再開、昭和34年（1959年）についに完成し、堤防の高さは32m、堤防の長さは155.8m、貯水量1,540万tという現在の満濃池の規模となりました。

満濃池は創築後1300年が経過する現在においても、2市3町3,000haを受益面積とする、県内最大の溜池です。

龍神伝説

大きな溜池には応々にして龍の伝説があります。龍は雲を呼び、雨をもたらすからです。

満濃池にも龍の話があり、今昔物語の中には満濃池の龍の話も出てきます。

今は昔、満濃池に住んでいた龍が、池辺で子蛇の姿で日なたぼっこをしていると、鳶になって餌を求めていた近江の国の比良山の天狗がこれを見つけて、捕まえて持ち帰り比良山の洞に入れた。さらに餌を求めつづけた天狗は、比叡山ではばかりにたった僧を見つけて、やはりこれを捕まえて持ち帰り龍と同じ洞に入れた。僧が持っていた水瓶の水を得た小蛇は、龍の姿に戻り洞を破って僧を助け、京都の町で僧に化けていた天狗を踏みつぶしたという。



満濃池のゆる抜き

香川県を代表する夏の行事。毎年6月中旬に水の神様をまつり水の宮と言われる神野神社で五穀豊穡を祈願し、池守護の道場神野寺で真言密教の護摩供養が行われた後、正午より満濃池の初ゆる抜き（取水管の栓を開けて、溜池の水を流し落とすこと）が行われ、毎秒4m³という水が配水口から放水されます。江戸時代以前から行われている大切な行事で、丸亀平野に初夏を告げる一大風物詩で県内外から大勢の見物客が訪れています。流れ出る水は川を下り周辺3,000haの田を潤し、この日を境にいっせいに田植えが始まります。

すこと）が行われ、毎秒4m³という水が配水口から放水されます。江戸時代以前から行われている大切な行事で、丸亀平野に初夏を告げる一大風物詩で県内外から大勢の見物客が訪れています。流れ出る水は川を下り周辺3,000haの田を潤し、この日を境にいっせいに田植えが始まります。

【交通】

- ・JR 琴平駅（土讃線）よりタクシーにて約15分
- ・琴電琴平駅または岡田駅よりタクシーにて約15分
- ・高松自動車道善通寺ICより約25分
- ・徳島自動車道美馬ICより約40分

【探訪コース】

国営讃岐まんのう公園、香川県満濃池森林公園、ほたる見公園に隣接し、満濃池周辺には小さな命達が息づいています。国営讃岐まんのう公園の誕生により、満濃池は水と緑を生かしたオートリゾートの拠点として発展しています。

満濃池のほとりに立つ純和風の“かりん亭”では、町内の主婦“まんでがんかあちゃん”が集まって郷土色豊かな素材でおもてなししてくれます。

また、満濃池中心に古くからの歴史を誇る満濃町には、弘法大師空海ゆかりの寺や史跡も点在しています。湯立神楽（三島神社）は10月12日、13日に行われる湯立の神事の際に行われる神楽。無形文化財としても注目を集めています。

海の守護神「さぬきのこんぴらさん」までは車で約15分、こんぴら温泉郷の施設を利用し、こんぴら参りも楽しめます。

【特産品】

讃岐といえば「うどん」。手打ちうどんの原型となる手法は、空海によって唐から伝えられたと言われています。満濃町でも昔から農村行事のおりおりに欠かせないものとなっています。かりん亭では、うどん打ち体験をはじめ、うどんづくり教室などが盛んに行われており、自分で打ったうどんを味わうのもよし。一方、町内のうどん店を配した「満濃町うどんマップ」が用意しており、食べ歩きも楽しめます。

【問合せ先】

香川県満濃町企画観光課
電話 0877-73-0106